



# 大分の「芯」とは？

## 1年間の長期研修を終えるに当たって

1年間の大分県中津市立豊陽中学校の派遣を通して大分の「芯」を感じてきました。私が感じた大分の「芯」を表すキーワードは、「**組織的**」な取組と「**一貫性**」です。

下の図のように、大分県、中津市、学校が一本の芯でつながっており、研究推進会議※を通して、全教職員がベクトルを合わせ、「組織的」かつ「一貫性」のある授業改善や教員の指導力向上に向けた取組を推進しています。

※ 研究推進会議：研究主任・「3つの提言」担当者等が集まって、学校全体の授業改善等について考える会議。

## 「組織的」かつ「一貫性」のある取組

大分県

中津市

学校

### 中学校学力向上対策3つの提言

組織的な授業改善の推進

各教科等の指導力向上の仕組みの構築

「生徒と共に創る授業」の推進

「みんな活躍授業」の推進

教科部会の推進

「学びに向かう学習集団」づくりの推進

### 研究推進会議

校内研究テーマの推進

- ・学びの手がかりとなる「キーワード」の活用
- ・誰一人取り残さず学びに向かわせる「交流活動」の充実

※県外レポート通信4号参照

定期的な教科部会の開催



※県外レポート通信6号参照

生徒の主体性を育む

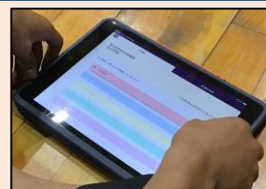


※県外レポート通信2号参照

### 実践交流会



各教科部会が、教科の壁を越え、研究テーマに沿った授業改善の具体例や、教科部会で話し合っている内容等を発表する会です。



生徒による授業アンケート

芯

研究主任だけでなく、学力向上担当者等も集まり、協議することで、学校の方向性が定まり「みんな（組織）で取り組む!」という意識が高まります。



## 1年間の感想

私が大分県で学んだことは**チームで授業改善や指導力向上に向かう大切さ**です。一人で考えるより、複数で考える方が多くのアイデアを共有できたり、悩み等を相談できたりします。さらに、チームワークも高まり、普段から相談できやすい雰囲気も生まれ、授業改善について語り合う学校風土の醸成に繋がっていきます。

岡山県に戻っても、大分県で学んだこれら2つのキーワードである「組織的」と「一貫性」を常に意識しながら、これからも学び続ける教員でありたいと思います。